夕刊 臺灣日日新報 十二月十四日

皇后陛下 皇太后陛下 神宮に恭しく御遙拜

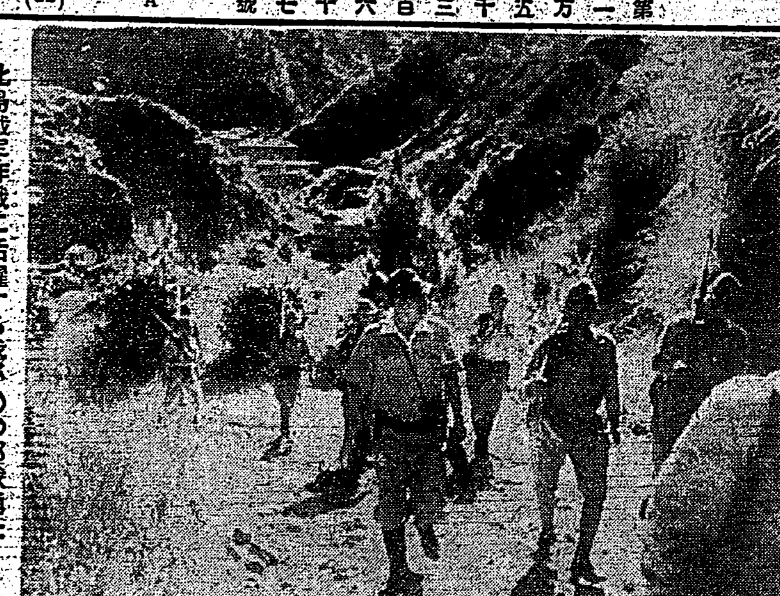
聖戰下皇室の畏き思召

畏き叡慮に民草歸一 撃ちてし已まん誓ひ

陸續と神苑に額く赤誠

大東亞戰爭第二年 臺灣の方途を檢討

督府定例局部長會議



比島戡定作戰に活躍する我が〇〇部隊勇士

經濟戰力增强協議

中央物價統制協力會議

全國經濟部長會議

決戰第二年の經濟運營協議

定例次官會議

敵船舶撃沈四十隻

印度洋、獨潜艦の戰果

サ離高級將校 ワニノ大佐は戰死

ソ土間に諒解成立

土國領土保全を骨子に

正と邪の決戰

世界戰爭第二年に入る

週間國際展望

沈默の祈禱日

樞軸の結盟益々固し

獨軍冬營線搖がず

英第八軍蠢動完敗

ロメル軍堅陣搖がず

樞軸軍熾烈な攻勢

チユニジア方面戰況

獨軍戰況公報

伊軍戰況發表

アラスカ米防衛司令行方不明

正義日本を讃歎

抑留の米人から感謝狀

獨佛關係を調整

ペタン佛首席對獨回答

佛共產主義者等を大量檢擧

貴族院調査會の議會對策

人事

無絃琴

昭和十八年 元旦豫言

貴大なる年!! 明年の運命鑑定

東京市神田區美土代町 山本哲仙鑑定所

男性 神經衰弱

かすが野莊

眼疾の予防

眼の保全

治病力と眼の疲勞解消の二つの優れた作用は、眼の性を良くして、危險な眼疾の豫防に役立ちます

從つて眼性の惡い人、眼の疲れ易い人は、本藥で眼の保全を計るのが、能率倍增眼疾豫防の最良の方法です

スマイル 純正眼藥

殺菌・消炎・鎭痛 收斂の快適な效果を發揮するのは、結膜炎 角膜炎 トラホーム 充血 淚症 霞目 疲れ目

厚生省試驗所檢定

ビタミンAD劑 ドリーム

水産・林業の

痛み 疲れに サロメチール

肩凝り 神經痛 ロイマチス

皮膚面にたゞ擦り込むだけで…直接炎症部に浸透して速やかに鎭痛・消炎の効果を發揮す

五十錢 一圓 二圓五十錢

「けふから交通訓練開幕」

交通道德の自覺促す

臺北州下一齊に實施

銃後治安へ協力希ふ

樂隊入りて大宣傳

大東亞戰の華

十日 嘉義市葬

耐熱性馬を增殖

新竹州豫算十五萬圓計上

南方建設座談會 比島篇(下)

米比の歷史的な惡緣

重要なる邦人の再組織

マニラ今昔談義

出席者(イロハ順)

比島人に仕事を與へよ

拓南工業戰士

第一回修了式擧行

木炭生産出荷强調週間

增産戰士を激勵

臺北州 必需物資特配高能率へ

豆腐にも切符制か

門松、注連飾りの規格、値段を決定

六大都市等の小包郵便取扱

學徒奉公隊の國防訓練場

附屬工事も完成

十九日嚴肅な竣工式

一等車の連結停止

國鐵・年末年始の陸運對策

臺北州辭令

"冬山"に挑む

本年度登山計畫發表

今夜の番組

三國志 (923)

(赤壁の巻)

吉川英治 作
矢野橋村 畫

生きて出る柩(三)

大本營陸軍報道部提供 文化奉公會推薦
大東亞戰爭 陸軍報道班員手記
●第一輯 マレー電擊戰
●第二輯 バタアン・コレヒドール攻略戰
●第三輯 ビルマ戡定戰
●第四輯 新刊 ジャワ擊滅戰
大日本雄辯會講談社 發行

盜汗・結核に ナクス(マルボ) 劇製薬大森のき性血貧 マルボ商店

營養總力戰
勝て、勝て、榮養こそ體力だ、國力だ！
錠劑 わかもと
東京 わかもと本舖

臺灣總督府 官報
月極購讀 一ヶ月 四拾五錢
臺灣日日新報社

毛深

かぜひき易く…… 胃腸の弱い小兒に！ 小兒良藥
樋屋奇應丸

慢性胃腸病に アルス胃腸藥

南方共榮圏へ大陸へ 海外青年會

（一） 第一萬五千三百六十七號 臺灣日日新報 昭和十七年十二月十五日（火曜日） （明治三十一年五月九日第三種郵便物認可） （第二刊）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

入佐俊家海軍中佐 畏し拜謁を賜はる 杉山中將ら五提督參內

聖戰下畏き大御心

皇國の興廢の岐れ目 畏き龜山上皇の御志

辻東大名譽教授謹記

三部會に分轄審議

經濟戰力增強協力會議

綜合經濟戰力の最高能率を發揮

井野農相挨拶要旨

生擴、國民生活安定

戰時經濟運營の要諦

岸商相挨拶

食糧は國內で自給

南方圈への依存は不可

千石產組會頭

價格引上のみで生產增强望めぬ

農林、商工兩省當局より答辯

賞鶴海兵團長 小林少將着任

皇祖の神驗を仰ぎ 聖旨を奉體粉骨碎身

龍東大史料編纂所長謹記

石油專賣法案制定

臨時立法として來議會提出

製品の販賣專賣

商工省當局談

日佛印關係は愈よ强度の調整を要求

佛印駐在栗山大使談

全產業經濟代表

けふ政府首腦者と懇談

供出米、消費割當協議

全國經濟部長會議第一日

全支公館長會議

十八、九日南京に開催

芳澤ドクー第一回會談

さくら印畫紙

結核 文献進呈 ヘモニトリン 大正製藥所

新經濟辭典 經濟學博士 前大藏政務次官 太田正孝著
A5判 全一冊上製 總頁數一千三百頁 語彙一萬數千語 定價拾五圓 送料六〇 外地一圓
【最新刊】本書は、太田博士が起稿以來實に十有五年の日子を費し、この間世界情勢と國內經濟の變革に伴ひ、改稿數回に及ぶ苦心を經て茲に完成を見たものである。經濟ならびにこれに關聯ある凡ゆる項目を網め、特に統制經濟、大東亞圏に關する語彙は細大漏らさず收錄してゐる。
冨山房 東京神田

改造社發行
火野葦平著 兵隊の地圖
火野葦平著 美しき地圖
火野葦平著 幻燈部屋
火野葦平著 河童昇天
火野葦平著 兵隊について
山本實彥著 巨いなる歩み
山本實彥著 大陸縱斷
山本實彥著 渦まく支那
山本實彥著 新歐羅巴の誕生
山本實彥著 蘇聯瞥見

大法輪 十二月號
生活禪談 澤木興道
皇室を中心とせる日本佛教…神谷文英
信濃の禪僧・正受老人の研究…林博
大東亞建設の眞實…竹林禾堂
人生々活の根本問題…金子大榮
臨濟錄提唱
象形文字の研究…後藤朝太郎
南印度の大祭…永見德太郎
勤王志士と其詩…城西隱士
佛教基礎知識講座…藤原了然
近代的多忙と禪…市川白弦
大覺禪師 坐禪論 鳴瀧妙光
新釋 西遊記 雲山閑道人
大法輪閣

日本評論社新刊
國民經濟構造變動論 酒井正三郎著
滿洲農業經濟論 近藤康男著
滿洲國統制經濟論 藤原泰著

社説
畏し伊勢神宮へ御親拜
誓つて宸襟を安んじ奉らむ

一

天皇陛下には、去る十二日特に畏しく伊勢神宮に御拜、……

二

三

わが國運においては、……

石油販賣の專賣制
"法律案"を今議會へ提出
督府、民間關係者に内報

石油專賣法案要綱

機械油配給統制
督府實施要綱成案急ぐ

銃後輸送の完璧化
局鐵荷物事故防止週間　滿尾部長の檄

開戰一周年の中國經濟（下）
解けた未知數方程式
共榮圏の一翼擔ふ大香港

香港の特殊性

戰後の應急處置

物資の交流開始

南支經濟の再出發

軌道に乘つた建設

開戰と共に一轉

香港及南方關係

輸移出の增加の事情

農機具の島產化へ
臺灣農機で積極的生產

旅客輻湊緩和に
けふから局營自動車運轉
楠梓・高雄間

石鹸新代用品登場

機構改革を協議
きのふ臺商理事會を開催

產組の特殊預金整理
產組聯が低利率貸付け

山林事務所長會議

お正月の糯米
一人七合を特配

森林資源確保へ
山林會が臨時總會開催

二期作米檢査成績

代用品展示會本極り
内地より入荷も五百點

保險契約高
四十五萬四千件

馬產事業費の一部
督府で國庫補助を政府に折衝

演物配給組合
年内に創立せん

歲末の金融打診
平靜裡に推移を豫想

臺灣纖維製品配給統制會社
事業開始は月末

無盡貯蓄目標額突破
殊に臺灣勸業無盡好成績

商況（十四日）

株式
兜町前場況　割安狙ひ物色買氣

東京長期後場

支那語雜誌 十二月號發賣
日語指南 十二月號
發賣所 雪華書院

下痢に　即効を誇るワカ末は胃腸ときつてもきれない仲となりました　ワカ末

悪化し易い慢性胃腸病に……　新生アイフ

心臟 体力強化に　抗病ホルモン　心力　岡山市船町 心力本舗　慰問袋に是非！

撚り戻すな

一億蒼生心構へ新た 大御心に應へ奉らん
安藤翼賛會副總裁謹話 放送

【東京電話】畏くも天皇陛下にはその一周年に當り去る十二月十二日親しく伊勢神宮に御參拜、皇祖の大御前に御告文を奏せられ[illegible]

總力を擧げて[illegible]

國家の[illegible]

未曾有[illegible]

聖慮を[illegible]

祖先の[illegible]

御協力[illegible]

將來の計畫より現在の實行が肝要
在阪有力者招待午餐會席上 長谷川總督の挨拶要旨

【大阪本社特電】長谷川總督は十四日正午大阪水交社で[illegible]

神宮大麻頒布式 十八日基隆市に

【基隆電話】基隆市では來る十八日午前十時から市役所會議室に於て神宮大麻及び暦頒布式を執行することになつた

賞賜物件傳達 きのふ基隆市に

【基隆電話】基隆市では十四日午前十時から市役所會議室に於て[illegible]を行つた

祭祀嚴修 神威顯揚に努む
東條兼攝内相 全國神官神職に訓令

【東京電話】畏くも天皇陛下に於かせられては去る十二月十二日御親ら伊勢神宮に御參拜[illegible]

總督招待茶話會 大阪臺灣クラブに

【大阪本社特電】大阪臺灣クラブ主催の長谷川總督招待茶話會は十四日午後二時半から大阪クラブで[illegible]

南方建設座談會 マライ スマトラ篇 (1)
自給自足の態勢確立
マライ スマトラ 全域に食糧增産運動

井上 大東亞戰爭一周年を迎へるに當り臺灣日日新報社では全島の新聞に最も新らしく正確な南方建設の現狀を島民に知らせたいと思ひまして皆樣にお集り願ひしたわけです、どうか忌憚のないお話を承りたいと思ひます、それでは先づ大久保中佐からマライ、スマトラの概況と現狀について一つ

大久保中佐 南方に於ける占領地の政治は治安確保、民心安定といふことだと思ふ、殊に作戰の當初に於ける[illegible]はまことに見事な美果であつたので民心に對して日本軍の威力が遺憾なく示されたことと又大體この地方の各民族は英國の統治下に非常に壓迫されてゐたので[illegible]

[illegible]

出席者 日時 昭和十七年十二月[illegible] 場所 [illegible]

勤勞報國の蔭に咲く 美談數篇
今は應召同樣の身だ
"悲報"に接し一層の奮起

【臺北電話】[illegible]

其一 [illegible]

其二 [illegible]

其三 [illegible]

其四 [illegible]

增産上に劃期的效果
持永局長勤勞語る

[illegible]

燒栗の押目買ひに御注意

[illegible]

皇軍の溫情に痛く感激
見舞金をそつくり恤兵獻金

[illegible]

軍司令部へ國防獻金

[illegible]

軍神の墓前に若櫻を植樹
制服の乙女ら

【臺北電話】[illegible]

物資配給の圓滑化
配給合理化運動に關する懇談會 島都奉壯團で開催

[illegible]

海洋青少年養成所訓練查閲 けふ實施

【基隆電話】[illegible]

海員養成懇談會

[illegible]

「切符制にはせぬ」
味噌醬油のデマ斷乎措置

【花蓮港電話】[illegible]

保正會議を開催

[illegible]

食田者へ同情金

[illegible]

大東亞戰爭一周年記念
あの感激を國債債券へ!
大東亞戰爭國債 郵便局賣出 12月7日—18日
第六回戰時貯蓄報國債券 賣出 12月7日—1月7日
大藏省

第一放送

第二放送

(營業種目) ナショナル主要製品
ラヂオ受信機並ニ同部分品販賣修理
強力擴聲裝置並ニ同部分品販賣修理
高周波應用製品販賣修理
各種無線送受信機並ニ同部分品販賣修理
乾電池・ランプ・空氣乾電池・蓄電池
蓄電池・電球・豆球
高級配線器具・開閉器・ベル類・電氣スタンド
コンデンサ・チューブ並ニ同部分品
各種電動機並ニ同部分品
各種工業用電熱器並ニ一般電熱器
高級配分電盤・油入遮斷器・各種電氣計器類
各種工作機械及金屬加工品
炭素接地棒・溶接棒及各種カーボン
高純度電解金屬
積層板及合成樹脂化學製品
松下電器産業株式會社代理店
(乙種服會)
新竹電器商事株式會社
新竹市東門町二ノ二七八
新竹市表町三ノ一一
電話七五五番

基隆礦業株式會社

第三十六回決算公告 臺灣貯蓄銀行

停止公告

台北合同興行會社

今日の映畫演藝

國際館 芳明館 芳乃館 新世界 台灣劇場 大世界

小兒科 信生堂醫院

齒科 矢野齒科醫院

耳鼻咽喉科 回生醫院

九一四 內服新藥 台北市永樂町 神農氏大藥房

講習生募集 事務員養成講習會 臺北事務員養成講習所

新株式第參回株金拂込公告
一、拂込金額 壹株ニ付金拾五圓也
一、拂込期日 昭和拾八年壹月拾五日
臺灣製糖株式會社

臺北土地建物株式會社

第六期決算報告書

株式名義書換停止公告 臺灣商工銀行

兒玉材木店

母陳氏愛 病氣 [illegible] 陳來福 陳禮學 陳德發

長男故陸軍上等兵村上護儀 [illegible] 父 村上猪太郎 [illegible]

土へ罩む"鍬の忠誠"

擧村增産へ鐵火の進軍

今ぞ挺身に展く一望「小麥の海」

【花蓮港電話】決戰下銃後の農民は增産を目指して職域奉公に邁進して居る［illegible］

奮ひ起て次の若櫻

空翔る者、巢立つ者

忠魂ひとすじ『雲染む屍』

仰げ見よ鷲の氣魄

【新竹電話】大東亞戰が勃發するや早くも之に馳せ參じ［illegible］なき米英擊滅に日夜身命を捧げ［illegible］東の陸の荒鷲として南方前線で本島青年の氣魄に［illegible］活躍し、或は時至るの巢立つ日を待つてゐる新竹州下出身の青年三人、既に新竹市內の二人の戰隊と共に今や州民の期待をあつめてゐるが時も時第一次志願兵發表の時表あり、之等本島青年の荒鷲の姿として誇るにふさはしきもの、雲染む屍たらんと驀進する國の決意にもゆる先輩の後日譚を夫々の家にきいてみる

その一 新竹郡新埔庄石頭坑字內立三三五一番地生れの范德聖君（二）は今ビルマ戰線の荒鷲として戰鬪の活躍をつづけてゐるが、同君が今日の榮譽を勝ち得るまでには幾多の涙ぐましい文字通り血の出るやうな苦心努力談がひそんでゐる、さほど豐かでない家に生れた范君は十二歲に公學校を卒へるや新北埔區庄の小僧奉公にやられて月給僅か六圓で朝から晩まで立働いてゐた、一生小僧で終るべきにあらずとて僅かな給料を惜し氣もなく皆書物に投じ仕事に疲れた［illegible］昭和十五年には優秀なる成績を以て第○期生として修了、航空通信學校に轉じ本年○月同校を卒業、上等兵飛行兵として南方への晴の征途についたのである、出征途中母の死にあつたが大義の前には人の子としての情も［illegible］

その二 は竹南郡頭分街四三三ノ一番地出身の松岡［illegible］君（二）［illegible］同君は昭和十三年臺北中學校から第○回の少年航空兵として全國の英俊に伍して入學［illegible］

その三 ［illegible］

『忠あつての孝だ』

晴れの日待つ張來福君

【新竹電話】第一回志願兵發表［illegible］

大麻頒布式 高雄神社で嚴修

【高雄電話】高雄市の神宮大麻及び高雄神社神符頒布式は十五日午前十一時から市會議室で市內各區長、奉仕長列席の下に嚴肅に執行される

英靈の市葬 故楊陸軍軍屬

【宜蘭電話】第三回特設勞務奉公團員として活躍中、不幸戰病死した故陸軍軍屬楊［illegible］君の英靈に對する市葬は十三日午後二時より公會堂に於て［illegible］市長葬儀委員長となり、長谷川州知事（代理［illegible］）［illegible］遺族各會、［illegible］各團體代表、從軍記念會員、市民等五百餘名出席して盛大に執行された

故黃陸軍軍屬庄葬

【臺中電話】大東亞戰爭［illegible］軍屬黃［illegible］君の庄葬は來る十九日午後二時南投國民學校講堂で［illegible］庄長葬儀委員長となり執行する

愛國百人一首（十一）

天の原てる日にちかき富士の嶺に 今も神代の雪は殘れり　鵜殿餘野子

千代ふるも［illegible］しるさず海つ國の 守りの道は我ひとり見き　林子平

われをわれとしろしめすかやすめらぎの 玉のみ聲のかかるうれしさ　高山彦九郎

あし原やこの國ぶりの言の葉に 榮ゆる御代の聲ぞ聞ゆる　小澤蘆庵

しきしまのやまと心を人とはば 朝日ににほふ山ざくら花　本居宣長

初國の［illegible］神のみかげをあふぎもろもろ　［illegible］

八束穗の瑞穗の上に千五百秋 國の秀見せて照れる月かも　荒木田久老

かぐ山の尾の上に立ちて見渡せば 大和國原早苗とるなり　橘千蔭

かけまくもあやに畏きすめらぎの 神のみ民とあるが樂しさ　上田秋成

遠つ祖の身によろひたる緋縅の 面影うかぶ木々のもみぢ葉　栗田土滿 / 蒲生君平

大日本神代ゆかけてつたへつる 雄々しき道ぞたゆみあらすな　賀茂季鷹

青海原潮の八百重の八十國に つぎてひろめよこの正道を　平田篤胤

ひとかたに靡きそろひて花すすき 風吹く時ぞみだれざりける　香川景樹

かきくらすあめりか人に天つ日の かがやく國のてぶり見せばや　藤田東湖

わが國はいともたふとし天地の 神の祭をまつりごとにて　足代弘訓

君がため花と散りにしますらをに 見せばやと思ふ御代の春かな　加納諸平

大君のためには何か惜しからむ 薩摩の迫門に身は沈むとも　月照

大皇の宮敷きましし橿原の うねびの山の古おもほゆ　鹿持雅澄

君が代を思ふ心のひとすぢに 吾が身ありとはおもはざりけり　梅田雲濱

大君の御贄のまけと魚すらも 神代よりこそつかへきにけれ　石川依平

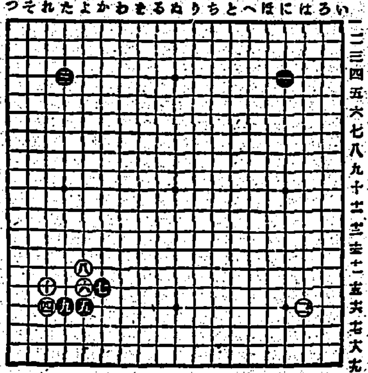
大日本文學報國會選

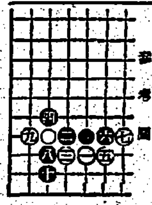
七段對五段戰

【第百局ノ二】先 七段 瀨越憲作　先番 五段 藤澤庫之助

持時間各十一時間（一分未滿切捨）

消費時間　黑［illegible］　白［illegible］





參考圖

白番の策戰

自評 七段 瀨越憲作

●一…ヘノ四　○二…ロノ十一　●三…ホノ四　○四…ヘノ十三　●五…トノ十一　○六…トノ十三　●七…カノ十五　○八…ヘノ十二　●九…ホノ六　○十…ヘノ十

［illegible］

大いなる祭 (8)

中野實 作　三芳悌吉 畫

その前夜（八）

［illegible］

赤誠の獻金

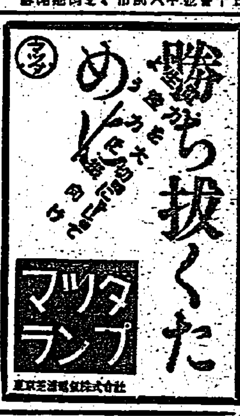
軍司令部（受付）

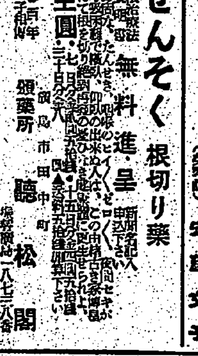
國防獻金 ［illegible］

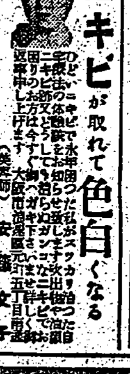
恤兵金 ［illegible］

災害樹閒感謝に

【宜蘭電話】宜蘭市では先般の暴風災害に際し各方面より寄せられた［illegible］







らい病　ぜんそく